

「教育実践フィールド研究」(社会科) シラバス

ーグループⅢ(8): 社会の見方・考え方を育てる授業・教材づくりー

A: 麻生, K: 草原, M: 町田

0 オリエンテーション(4月)

1 今日の学校教育の課題とそれをめぐる論点・争点(5月~7月, 5回分)

- (1) 教科教育, とくに社会科教育の視点からみた教育課題
 - (2) 教科教育, とくに社会科教育の視点からみた教育課題
 - (3) 前年度「教育実践研究」の成果の発表, その意義の解説
 - (4) 前年度「教育実践研究」の成果の発表, その意義の解説
 - (5) 今年度の教育課題・テーマ群の説明 →希望テーマ提出
- } 終了済み

2 教育課題についての共通理解づくり(10月~11月, 4回分)

- (1) 共通テーマの設定 4チーム合同 (10月8日)
- (2) 「社会の見方・考え方の育成」への取り組み方の協議 (10月22日) AKM
- (3) 「社会の見方・考え方の育成」の実態把握, 授業見学(1) (11月のどこかで) K
- (4) 「社会の見方・考え方の育成」の実態把握, 授業見学(2) (11月のどこかで) K

3 各教科・領域の特性を活かした教育課題へのアプローチ(12月~2月, 6回分)

- (1) 社会科の目標にもとづく教材づくりの視点 (11月26日) K
- (2) 歴史学の成果と方法にもとづく「くらしの今と昔」の研究 (12月3日) M
- (3) 法学の成果と方法にもとづく「けいさつの仕事」の研究 (12月10日) A
- (4) 「くらしの今と昔」の教材構想の発表と研究協議 (1月14日) AKM
- (5) 「けいさつの仕事」の教材構想の発表と研究協議 (1月28日) AKM
- (6) 各チームの共通テーマに取り組む視点の発表, 意見交換 4チーム合同 (2月4日)

4 子どもと教師の視点からの教育課題へのアプローチ(2月~3月, 3回分)

- (1) 協力校教員との研究協議, 教材の有効性と活用法の検討 (2月のどこかで) K
- (2) 子どものメタ認知の調査, 聞き取り・アンケートの結果分析 (2月18日) K
- (3) 共通テーマをめぐっての意見交換, 1年間の成果と課題 4チーム合同 (3月4日)

5 教育課題の解決に向けた教材研究・授業開発(4月~5月, 6回分)

- (1) 教材を活用した社会科授業づくりの基本原則 (4月15日)
- (2) 教材づくり, 授業づくりの実習 (4月22日)
- (3) 教材づくり, 授業づくりの実習 (5月13日) ★
- (4) 評価シートづくりの実習 (5月20日) ★
- (5) 各チームの授業計画または実践成果の発表, 意見交換 4チーム合同 (6月3日) ★
- (6) 協力校教員との研究協議, 実践に向けた打ち合わせ (5月のどこかで)

6 教育課題の解決につながる授業実践(5~6月, 3回分)

- (1) 「くらしの今と昔」or「けいさつの仕事」の授業実践・反省 (5~6月のどこかで)
- (2) 「くらしの今と昔」or「けいさつの仕事」の授業実践・反省 (5~6月のどこかで)
- (3) 「くらしの今と昔」or「けいさつの仕事」の授業実践・反省 (5~6月のどこかで)

7 授業実践の成果と課題(9月~10月, 3回分)

- (1) 授業実践の振り返り, 成果と課題の確認 4チーム合同
- (2) 授業実践の成果発表の準備 4チーム合同
- (3) 授業実践の成果発表ー「教育実践フィールド研究」フォーラムー 全学 ★

★の回は, M1の授業と相互乗り入れで実施する。